

聖霊降臨節第二十二主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「愛する神にのみ」
（讃美歌 21 の 454 番）
K.G.ウムブライト作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/17 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 10 篇 12～18 節

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✙ I コリント 3 章 10～13、16～17 節
✙ ルカによる福音書 11 章 20～26 節
（新約 P.128、P.302）
応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師
『空き家の危険性』

使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/457 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「みことばもて主よ」
（讃美歌 21 の 50 番）
J.C.キッテル作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 澤田昌人
奏 楽 飯田雅子
献金当番 松本貴子
受付当番 畑耕太郎

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
◇大掃除（礼拝後）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈祷会
・10 月 20 日（火）午前 8 時 30 分
・10 月 22 日（木）午前 9 時
・10 月 23 日（金）午前 9 時
＊祈祷会の後、教会掃除をします。
◇英語での祈祷会
・10 月 22 日（木）午後 7 時 30 分

【次週主日 10 月 25 日ご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：澤田昌人
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✙ ヘブライ 6：4～8
✙ ルカ 12：4～12
・教 話 井上隆晶牧師

『聖霊を冒瀆する者』

・讃美歌 21 361、46、404
・交読詩篇 詩編 11：1～7
・司式補佐 井上万里子
・奏 楽 鹿野幸枝
・献金当番 山千代憲一
・受付当番 屋宮英男
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
◇宣教協議会（午後 1 時）

聖 句

「自分より悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前より悪くなる。」

（ルカ 11 章 26 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：20 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」、24 日（土）「大宮保育園運動会」
②《10 月の教会行事予定》
■10 月 18 日（日）礼拝後「教会大掃除」（昼食は各自で持参）
■10 月 20 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
■10 月 25 日（日）午後 1 時「宣教協議会（会堂建築について）」（食事は第二グループ）
■10 月 26 日（月）午後 1 時 30 分「シャロン千里礼拝」
③10 月 12 日（月・祝日）に 1 day 教会学校キャンプを都島教会で行いました。子供 14 名、大人 13 名、計 27 名の参加でした。午前中は「主の祈り」を学び、午後は「イワンの馬鹿」のペープサートを見て悪に負けず、まっすぐに生きることを学びました。感謝でした。
④【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
11	CS 礼拝	—	1	7	8	¥1,550
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
11	朝の礼拝	10	14	4	28	¥17,150
12	day キャンプ	6	7	14	27	
13	朝の祈り	1	1	—	2	
14	朝の祈り	1	2	—	3	
16	朝の祈り	1	3		4	

- ⑤【10/11 の献金報告】
[月定] 木許宣明、小淵公子、小淵賀裕（計 105,400 円）
[感謝] 相澤美子、小淵賀裕、中村恵子（計 33,000 円）
[互助] 小淵公子、山千代誠子（計 3,000 円）
⑥ホームレス支援のために、男性用の新品の T シャツ、ズボン（M～L サイズ）がありましたら寄贈をお願いします。また、カップラーメン、カップ飯の寄贈もお願いいたします。



【週報表紙の続き】

地上でも天上でも生き方は同じなのです。地上で自分勝手に信仰する人は、天上でも自分勝手に信仰するでしょう。地上でキリストに従わない人は、天上でも従わないでしょう。地上でキリストをそんなに必要としなかった人は、天上でも必要としないでしょう。人の生き方はそんなに変えられないからです。

③【上昇ではなく下降の道を選びなさい】弟子たちはこの世の人が皆求める強く、大きく、豊かに、偉くなることを求めています。しかしここで主はこれとは全く逆の生き方をするように命じられます。「偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。」（マタイ 20 章 27 節）それは弱く、小さく、貧しく、低くなる生き方であり、キリストが歩まれた生き方です。ヘンリ・ナーウエンはこう書いています。「クリスチャンの指導者のたどる道は、この世が多大な精力を費やして求める上昇の道ではなく、十字架にたどりつく下降の道です。」私はこの教会に来て 36 年が経ちました。この教会がなぜもっと大きく豊かにならないのかと思います。信徒の数が増えて来ると散るのです。それも有力な信徒の方がいなくなるのです。どうも神様が大きくなることを止めておられるとしか思えないのです。教会というのは小さく、貧しく、弱く、迫害されている時の方が信仰は生き生きしており、神の業が現れます。教会が大きく、豊かに、強くなると人間の計算や人間の業ばかりになり、信仰の質は低下し、墮落するのです。十字架への細い道を選ばなければなりません。それは上昇の道ではなく下降の道です。楽になるのではなく苦しむ道であり、栄光ではなく恥の道、勝つのではなく負ける道、得をするのではなく損をし、相手を生かして自分を殺す道、願望がかなうのではなくそれを手放す道です。神が許可されるならこの世で大きく豊かになりましょう。そうでなければ、この道を決して忘れることなく歩みたいと思います。